

文化財中訳スタイル・マニュアル:約物編

吳 修喆[†]

[†] 奈良文化財研究所

Style Manual for Chinese Texts on Cultural Heritage: Punctuation

Wu Xiuzhe[†]

[†] Nara National Research Institute for Cultural Properties

凡例

- (1) 本マニュアルは、奈良文化財研究所の多言語チームが推奨している文体や文法などのルールを記録したものである。
- (2) 本マニュアル(約物編)は以下の規定・書籍を参考にした。
「GB/T 15834-2011 标点符号用法」中華人民共和国国家质量监督检验检疫总局・中国国家标准化管理委员会公布、2011年12月
「重訂標點符號手冊修訂版」教育部國語推行委員會編著、2008年12月
日本エディタースクール 2011『標準 校正必携 第8版』日本エディタースクール出版部
講談社校閲局 2013『日本語の正しい表記と用語の辞典』講談社
- (3) 使用する例文はすべて奈良文化財研究所の出版物による。個別の出典は省略した。
- (4) 基本的なルールは簡体字文・繁体字文共通であるが、異なる用法を有する項目では繁体字の例文を挙げた。

1 記述記号

1.1 区切り記号

1.1.1 句点、ピリオド 。。

横書き・縦書きに関わらず、中国語フォントの句点(中国語では「句号」と呼ぶ)に統一する。一部の繁体字フォントでは、句読点の位置が縦中央となる。

例① 奈良文化財研究所は、文化財を総合的に研究するための機関です。

(簡) 奈良文化財研究所是一个综合性的文化财研究机构。

(繁) 奈良文化財研究所是一個綜合性的文化財研究機構。

1.1.2 読点、コンマ 、、，

長文・複文の区切り(例①)は、横書き・縦書きに関わらず、中国語フォントによる全角コンマに統一する。ただし、複数列举の場合(例①下線部)または箇

条書きの漢数字の後ろ（例②）に置くものは、読点（頓号）のままにする。隣接数字で大まかな範囲を表すとき、各数字の間に読点を置く（例③）。

例① 社寺、民家、近現代建築などの各時代の建物のみならず、時として土木遺産など、人工的な不動産物件を調査研究対象としています。

調査研究の対象不仅限于各个时代的神社、寺庙、民居、近现代建筑等，有时候还包括“土木遗产”等不可移动的人工建造物。

例② 第一、車寄

第二、掌典詰所

第一、門廊

第二、掌典（祭祀官）守候处

例③ 三四回

三、四次

1.1.3 コロン、セミコロン ：；

中国語フォントによる全角のものに統一する。会話文の発話者や引用文の作者などを提示する場合は、言う・書くの動詞と会話文・引用文の間にコロンを置く（例①）。列挙や箇条書きの前に置く読点はコロンにし（例②）、改行しない箇条書きの項目を区切るための読点はセミコロンにする（例②下線部）。

例① このような場合、「自分が確認したので、もう他の人は、確認のためにこの山道を登り下りする必要がない。世間のお役にたった。」と自分に言い聞かせています。

这种时候，我就会对自己说：“我来爬一次，其他人就不需要再爬上来确认了，这是为大家做了贡献。”

例② 主な活動としては、①外部からのお問い合わせについての対応、②文化財担当者等研修の企画調整、③『奈文研論叢』の編集があげられます。

主要活动包括：①处理外部咨询；②企划和协调面向文化财负责人等的研修课程；③编辑《奈文研论丛》。

1.1.4 中黒、中点 ・

複数列挙の場合は中国語フォントによる読点（頓号）に統一する（例①）。中訳において、漢字圏以外の人名は漢字に音訳し、「名・姓」のように中黒を置く（例②）。漢数字の小数点に用いられる中点はそのままにする（例③）。中国語では、書名と編名、詩体名とタイトルなどの間に中点を置く（例④）。

- 例① 平城京の中央北端につくられた古代日本の政治・経済・文化の中心。
平城宮建于平城京北部中央位置，是古代日本的政治、经济、文化中心。
- 例② ドナルド・キーン (Donald Keene)
唐纳德・基恩
- 例③ 約三・六メートル
约三・六米
- 例④ 周礼・考工記 沁园春・雪
《周礼・考工记》《沁园春・雪》

1.1.5 疑問符、感嘆符 ？ ！

疑問符・感嘆符など感情または口調を表すものは全角のものに統一し、感情の度合いに合わせて一つ以上つける場合は、最多で三つまでとする。日本語原稿の場合、段落途中で使われる疑問符・感嘆符の後ろに全角スペースを入れる習慣があるが、中国語ではその必要がない。

- 例① 奈良時代を体験!! 人面墨書土器を描こう
体验奈良时代!! 一起来画人面墨绘陶器吧!

1.1.6 斜線、逆斜線 ／＼

日本語文章の斜線や逆斜線は半角スラッシュに統一する。

- 例① 大阪毎日新聞 昭和13年7月30日奈良版「銅に代わって一陶磁器の賞牌登場／松田正柏氏の研究」
《以陶瓷制品代替铜制奖牌／松田正柏的研究》（《大阪每日新闻》1938年7月30日奈良版）

1.2 くり返し符号 々〃ゞゝゐなど

中国語の正規表現では、くり返し符号は使用しない。日本語のくり返し符号は、形態に関わらず、必要に応じてくり返す部分の漢字を書き出すこととする。

- 例① 玄宮楽々園
玄宫乐乐园

1.3 つなぎ記号

1.3.1 ハイフン・ダッシュなど連字符 - = —

人名に使われるハイフン・二重ハイフンは、中訳の際、いずれも半角ハイフンに統一する（例①）。文の末尾などに置く連字符（例②）は六点リーダーにする。主題と副題を区別するために使われる全角ダッシュ・二倍ダッシュなどは、主題と副題の間に置く二倍ダッシュに統一する（例③）。また、オノマトペの長音記号も二倍ダッシュにする（例④）。

例① クロード・レヴィ＝ストロース（Claude Lévi-Strauss）

克洛德・列维-斯特劳斯

例② 木簡たちは、今度はどんな一面を、私たちに見せてくれるだろうか――

这些木简们今后将会向我们展示怎样的一面呢……

例③ 「未来につなぐ平城宮跡―保存運動のあけぼの―」

《以平城宫遗址牵引未来——保存运动的曙光》

例④ ウーウー

呜——呜——

1.3.2 波線 ～～

文章の中で範囲を表示する波線は、漢数字の場合は「至」に訳す（例①）。アラビア数字（例②）またはアルファベットの場合（例③）はダッシュまたは半角波線にする。

例① 数十～数百年を通した年輪幅のパターン

数十至数百年的年轮宽窄模式

例② 2月・4月・7月・11月の第2月曜日（祝日の場合は翌日）、12/29～1/1

2月、4月、7月、11月的第二个周一（如遇节假日则顺延至次日），12/29—1/1

例③ 井戸内の遺物は上からa～eの五層に分けて取り上げた。

井内遗物从上之下分为a~e五层，分层提取。

1.3.3 リーダー … ……

中訳では六点リーダー（省略号 / 削節号）に統一する。文末のリーダーの後ろに句点がある場合は句点を省略する（例①）が、疑問符や感嘆符は保留する（例②）。

例① 果して手習いの成果は…。

習字的最终成果は……

例② まさか、古代の西大寺のお坊さんたちは、木簡などの証拠が残らぬように
気を配りながら、コッソリと…!?

难道，是古代西大寺的僧侣们为了不留下木简之类的证据，悄悄地……! ?

2 括弧類

2.1 引用符、括弧(角・亀甲・中・大) “ ” ‘ ’ () [] { } 【 】

欧文と共通の引用符と括弧類(山括弧を除く)は中訳でもそのままにする。二個以上並ぶ時は読点で区切らない。中国語では、亀甲括弧は作者の時代、角括弧は作者の国籍を表記するのによく用いられる(例②)。

例① “第一次大極殿” “第二次大極殿”

“第一次大极殿” “第二次大极殿”

例② 【日】菅原道真 【唐】李白

2.2 山括弧、二重山括弧 〈 〉 《 》

見出しや簡条書きの番号に用いられる山括弧(例①)はそのままにしても構わないが、二重山括弧は中国語の文章において、もっぱらタイトル・書名の表記に用いられるため、使用を避ける。強調に用いられる山括弧(例②)または二重山括弧(例③)は、二重引用符に統一する。

例① 〈連載〉 〈1〉 〈2〉

〈连载〉 〈1〉 〈2〉

例② 現状で、最も実物の〈再現度〉の高いレプリカといえよう。

可以说，这是目前“还原度”最高的复制品。

例③ 《木简》x《年輪年代学》、その行き着く先の未来や如何に!?

“木简” × “树轮年代学”，将会走向怎样的未来呢! ?

2.3 鍵括弧、二重鍵括弧 「」 『』

引用・強調を表す場合の鍵括弧(「」の中にさらに引用・強調があれば『』を使用)は、繁体字文ではそのままにし、簡体字文では中国語フォントによる二重引用符(“”の中にさらに引用・強調があれば‘’を使用)に統一し、二個以上並ぶときは読点で区切らない(例①)。タイトルの表記は、繁体字文では文章・個別な芸術作品に山括弧、書籍・戯曲・映画・音楽アルバムなど作品集に二重山括弧を

用いるが、簡体字文では基本全部二重山括弧に統一する（例②）。

例① 「古墳」「墓」「名勝地」「旧跡地」「宮跡」の保存に関する建議

（簡）关于保存“古坟”“墓葬”“名胜”“古迹”“宫殿遗址”的建议

（繁）關於保存「古墳」「墓葬」「名勝」「古蹟」「宮殿遺址」的建議

例② 村上隆『『富本錢』の材質に関する材料科学的研究』『文化財論叢Ⅱ』2002。

（簡）村上隆《“富本钱”材质的材料科学研究》，《文化财论丛Ⅱ》2002。

（繁）村上隆〈「富本錢」材質的材料科學研究〉，《文化財論叢Ⅱ》2002。

3 数学記号、学術記号、商用記号、その他しるし物 + × ≥ % © → ★ ♪ など

中訳でもそのまま使用する。